|  |
| --- |
| 情　　報　　提　　供 |
| 2020年（令和2年）2月26日 |
| ふくやま美術館 |
| 電　話　084-932-2345 |

**刀剣ファン必見　「江雪左文字」など国宝１４口が広島県福山市で展示**

　広島県福山市にある「ふくやま美術館」で「小松安弘コレクション寄贈記念 日本の名刀」が開催中です。

　国宝７口、国の重要文化財６口、特別重要刀剣１口、計１４口の貴重な刀剣が4月5日まで公開されています。個人の刀剣コレクションで国宝が７口も揃っているのは他に例がなく、美術館・博物館としても東京国立博物館の１９口に次ぐ多さを誇っています。

その中でも注目を集めているのが南北朝時代の太刀「江雪左文字」。戦国大名の小田原北条家の武将だった板部岡江雪斎は、北条家衰退後に豊臣秀吉、徳川家康に仕えており、「江雪左文字」は家康を経て、紀伊徳川家にわたり同家第一の名刀とされていました。

開催期間中には、ふくやま美術館館長で刀剣研究の第一人者の原田一敏館長によるギャラリートークも開催されます。ゲーム「刀剣乱舞―ONLINE－」にも登場し、「刀剣女子」など若者からも人気の「江雪左文字」に関する深い話を聞くことができるかもしれません。



●展示概要

特別展示　小松安弘コレクション寄贈記念「日本の名刀」

日時：4月5日（日）まで

場所：ふくやま美術館（広島県福山市西町2丁目4－3）

内容：福山市名誉市民である株式会社エフピコの創業者の故小松安弘氏が収集した国宝７口を含む日本刀全１４口のコレクションを展示

●ギャラリートーク

日時：3月14日（土）14時～15時

料金：所蔵品展観覧券が必要

詳しくはURLを参照

http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/170984.html